

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 ・ 35	運営推進会議を通し地域防災活動の情報や協力も得られて来ている。高齢者の夜間災害避難は時間がかかる為、地域住民の方々や地域消防団の方々の協力が必要である。	運営推進会議や地域防災会議などを活用し、施設防災体制の整備を行う。また、地域の防災対策協力を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練時の地域消防団との協力体制の整備。 ・自治委員の方々や、近隣住民の方々との相互理解と協力体制づくり。 ・地域防災対策への協力。 	12ヶ月
2	23 ・ 26	初回アセスメント時に基本的な情報や生活歴等についても聴取し、日々の暮らしの中で反映出来るように努めているが、把握、実践していてもアセスメントやモニター内容が書面への連動がやや充実していない。	アセスメントの充実と効果的モニターリング評価を行い、より良い本人本位のケアプラン作成に繋げ「その人らしさ」を活かすケアを充実していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・書式及び内容の見直し。 ・利用者様個々の ・研修会参加及び勉強会。 ・カンファレンス内容の充実。 	12ヶ月
3	13 ・ 33	重度化していくのは明確であり、職員の技術と知識を向上し、重度化を受け止め対応していく必要がある。	勉強会や研修への参加機会を作り、職員のスキルアップを行う事で、ご利用者が安心してその人らしく生活できるようなケアを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会への参加。 ・技術研修や実践研修。 ・利用者様個々の専門的ケアの研修。 	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。